

2018年9月13日

「スタートアップワールドカップ2019」九州ロードショー開催
日本地域予選 出場スタートアップ 2社決定



飯塚市

世界約40の国・地域で予選が開催され、優勝投資賞金約1億円をかけて競い合う世界最大級のビジネスピッチコンテスト『スタートアップワールドカップ2019』（以下、「本大会」）の日本予選初の地域ロードショーが、9月9日（日）福岡県飯塚市 嘉穂劇場にて開催されました。

記念すべき第1回九州ロードショーでは47社ものスタートアップから応募があり、「地元九州から東京、そして世界へ。」という熱い思いの企業が一同に会

しました。会場となった歌舞伎小屋の嘉穂劇場では、九州地区で書類選考を突破した以下のトップ 10 社がファイナリストとして花道を通り拍子木とともに登壇致しました。

- ・株式会社 炭化
- ・株式会社ヤマップ
- ・Kotozna 株式会社
- ・歯ッピー株式会社
- ・株式会社 AliveCast
- ・株式会社 トーン
- ・エネフォレスト株式会社
- ・オングリット株式会社
- ・Smile Score 株式会社
- ・株式会社 N Lab

3 分間のプレゼンと 2 分間の質疑応答を経て、最終的に日本予選に勝ち進んだ 2 社は、紫外線を使った殺菌照射装置を販売する[エネフォレスト株式会社](#)（大分市、木原寿彦代表取締役）と、異なる会員制交流サイト（SNS）間での多言語同時翻訳サービスを手掛ける[Kotozna 株式会社](#)（ことつな。福岡市、後藤玄利代表取締役）に決定しました。この 2 社が九州地区を代表して、東京で開催される日本予選に参戦します。

本大会主催の米シリコンバレーに拠点を置く Fenox Venture Capital の共同代表パートナー兼 CEO アニス・ウツザマンは「日本地域予選にご応募頂くスタートアップのうち参加率が低かった九州地区で日本初となるロードショーを開催することができ、非常に嬉しく思っています。来月 10 月 5 日に開催される日本地域予選への出場権を得たエネフォレストと Kotozna にはぜひ頑張ってください。」とコメントいたしました。

今回の九州ロードショーでは、スタートアップワールドカップの会長も務めるアニス・ウツザマンを含め、在福岡米国領事館首席領事のジョイ・未知子・サクライ氏、飯塚市の片峯誠市長、インフォテリア株式会社代表取締役 CEO の平野洋一郎氏、テラモーターズ株式会社・テラドローン株式会社代表取締役の徳重徹氏などが出席された豪華な大会となりました。

■スタートアップワールドカップについて

世界のスタートアップエコシステム構築を目指し、イノベーション促進と起業家精神育成をサポートする、Fenox Venture Capital 主催のグローバルビジネスコンテストです。今年の世界 40 の国・地域で予選を行う予定で、サンフランシスコで開催される決勝大会には世界トップクラスのスタートアップ、VC、起業家、大手企業が集結し、優勝企業には約 1 億円の投資賞金が贈られます。

<http://www.startupworldcup.io/>

日本予選の観戦チケットはこちら：<https://peatix.com/event/409677/view>

■Fenox Venture Capital について

Fenox VC は米国シリコンバレーに本社を構え、世界 27 の大手企業から LP 出資を受け入れており、これまでに 127 社以上のスタートアップに投資を実施しているベンチャーキャピタルです。日本では、ZUU（東証マザーズ上場：2018 年 6 月 21 日）、ジーニー（東証マザーズ上場：2017 年 12 月 18 日）、マネーフォワード（東証マザーズ上場：2017 年 9 月 29 日）、エボラブルアジア（東証マザーズ上場：2016 年 3 月 31 日、東証一部へ市場変更：2017 年 3 月 31 日）、メタップス（東証マザーズ上場：2015 年 8 月 28 日）、ディー・エル・イー（東証マザーズ上場：2014 年 3 月 26 日、東証一部へ市場変更：2016 年 4 月 15 日）といった既に上場した企業のほか、テラモーターズ、ユニファ、モンスターラボ、FiNC 等への投資を行っており、これら投資先の海外展開の支援等を手掛けています。詳細については、www.fenoxvc.com をご覧ください。